

障がい等地域支援ブロック会議報告(令和2年10月～令和3年2月)

資料1

※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から今年度はWEB会議中心に実施。事例検討等の意見交換は実施していない。

※来年度はWEBによるグループ討議を検討中。

月	参加機関数 (うち来場事業者数)	参加者数 (うち来場者数)	担当機関名	事例タイトル	検討項目	意見	課題
10	16 (3)	23 (4)	障害福祉課	WEBでつながろう	県内でクラスターが起き、会議ができないため、WEB実施に切り替えることを検討。WEB参加のための準備として各事業所とWEBで会議が可能か。人数参加は見込めるか。	<ul style="list-style-type: none"> 音が聞こえない、映像が繋がらない等あったが、最終的にはアクセスした方全員の不具合が解消され、WEBで繋がることになった。 今まで時間がなく参加できなかった事業所もWEB会議になったことで参加しやすくなりそうだという意見あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 電波が安定していないため、フリーズすることあり。 雑音が入るため、主催者側で全員ミュートの必要性あり。
11	23 (2)	26 (3)	ハイツふなき	宇部市障害者安心緊急支援事業～緊急ショートについて	緊急ショートステイの事業説明や現状の課題、解決策について意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 相談があっても利用につながらないケースはどのような事例か。 金銭管理はしてもらえるのか。 緊急ショート中の他施設への見学はどのようにしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 段差等構造上の理由により、車いすや歩行器利用の際利用が難しい。 権利擁護事業を利用するにも短期間のため利用できず、金銭管理が難しい。 他施設への見学は家族が実施。身寄りのない場合が難しい。
12	16 (12)	17 (13)	宇部市消費生活センター	消費者被害の防止と見守り体制づくり	障害者が被害を受けた(受けそうになった)消費者被害の現状や相談機関との連携を含めた対応方法について意見交換	<ul style="list-style-type: none"> トラブルの特性、特徴がよくわかった。 普段と何か違うなど感じたら、本人への声掛けや関係者との連携が必要。関係者のネットワークを密に。 一度被害にあったら、二度、三度続くこともある。 成年後見制度等を適切に利用していくことも必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ネット等を介しての被害の場合には、支援者が知りえないこともあるため、今以上に関係者間の連携が必要である。
1	21 (2)	23 (4)	ウイズライフ創	地域移行支援	精神科病院退院後の地域生活復帰の支援について、支援付アパートや地域生活体験事業、地域生活拠点での活動の紹介、課題や解決方法について意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 相談があっても利用につながらないケースはどのような事例か。 金銭管理はしてもらえるのか。 知らない場所にいきなり宿泊は不安がないのか。 8050問題とどう向き合っていくのか。CMとの連携が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 場所見知りもあるので、宿泊前に何度か日中アパートに過ごすことができるとより良い(現在インフォーマルで実施。) 3階のため、利用者によっては利用が困難なことあり。
2	21 (6)	27 (6)	デイサービス優	高齢障害者へのサービスについて	共生型サービスの内容や現状、課題について情報共有や意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 65歳になれば共生サービス利用となるのか。 65歳以上で共生型ではなく生活介護利用者があるのはなぜか。(他市在住の方。宇部市では65歳になれば介護認定を行い、介護保険に移行するよう働きかけている。) 共生型の指定を受けるハードルは高いのか。 今回の話でよくわかった。もっと周知していくことが必要では。 	<ul style="list-style-type: none"> ADL低下時の介護保険施設への移行。ケアマネとの連携が必要。 参加者の中には制度を知らない人もいたため、制度の周知を今以上にしていく必要がある。